

第13期 (2026年度)

ジャーナリズム公開講座(全9回)

第3回 6月25日(木) 18:30~20:30

憲法9条の解釈改憲に終止符を

「戦争反対、9条まもれ」と言いつつ〈解釈改憲〉は容認・放置する人々。自衛なら戦争するのか、自衛でも戦争しないのか——この本質的な問いかけに答えることなく曖昧にしています。〈解釈改憲〉は「大人の知恵」ではなく、立憲主義・国民主権を犯す欺瞞。本講座では〈9条・解釈改憲〉の歴史的経緯と解消の方途を解説します。 ※〈解釈改憲〉とは、条文はそのままで政府、国会多数派が条文の解釈を変えることで実質的に条文の本旨を変えてしまうこと

ジャーナリスト 今井 一



【講師略歴】1954年大阪市生まれ。81年からポーランドやソ連で民主化運動を取材。96年からは新潟県巻町・刈羽村、岐阜県御嵩町、名護市、徳島市、岩国市などの住民投票、2016年の英国など欧州諸国の国民投票の実施実態を取材。2006-07年に衆参両院の憲法調査特別委員会に5回招致され、国民投票のあるべきルールや諸外国での実態について陳述。[国民投票/住民投票]情報室代表、INIT 国民発議プロジェクト企画・運営委員。著書は『住民投票の総て』(編著)、『国民投票の総て』(編著)、『「解釈改憲=大人の知恵」という欺瞞』、『CZESC(チェシチ)！—うねるポーランドへ』(ノンフィクション朝日ジャーナル大賞)など多数。

申込方法(要事前申込/先着)

オンライン配信

定員 200名 Zoom ウェビナー

右の二次元コードまたは下記のホームページからウェビナー登録をしてください。登録完了後に接続方法をご案内します。



●申込期限

6月24日(水)17:00